

町勢功労者

長年の尽力と功績に

功労賞と感謝状を贈呈

平成22年度の町勢功労者表彰式は11月5日、ふれあい宿舎クリンテージで行われました。町の発展に貢献された3人の方へ功労賞、町へ金網かごを寄贈された1社に感謝状が町長から贈られました。



功労賞（産業経済）

遠藤 耕之助さん

昭和31年、商工会設立の発起人となり、現在の商工会設立に尽力され、その後も理事、専務理事を歴任、商工会の発展に貢献されました。また平成2年に誘致企業を立地し、雇用の場を創設するなど、町の商工業発展に大きく貢献されました。



功労賞（産業経済）

田野 義法さん

昭和39年から葛巻町農業協同組合の職員として酪農振興に尽力され、平成6年に参事に就任してからは、農協の広域合併など困難な課題を克服。新岩手農業協同組合の誕生後も理事、常任理事として、町はもとより新岩手管内の畜産振興に貢献されました。



功労賞（保健・福祉）

近藤 康子さん

昭和56年から保健委員に就任、平成11年からは保健委員協議会会長として、住民の健康を守るため地域保健活動の普及に積極的に取り組まれました。また、健康づくりに対する食生活の重要性を認識し、昭和59年から町食生活改善推進員も務められています。



感謝状

小岩金網(株) 代表取締役社長 西村専次さん

金網かご「コイワレット」100基（200万円相当）を町に寄付され、各自治会や学校等でゴミの収集や用具入れに広く活用されています。これまでも、寄付をされるなど町へ多大な貢献をされています。



たくさんの方の地元の声援を受けて演奏した馬淵川源流太鼓の会④と、馬淵川源流太鼓の会ジュニア⑤

躍動感あふれる太鼓を披露 ～2010いわて太鼓フェスティバルinくずまき～

町の町村合併55周年を記念して「2010いわて太鼓フェスティバルinくずまき」(同実行委員会・遠藤勝広委員長)が11月7日、社会体育館で開催され、各団体は躍動感あふれる太鼓の音を会場いっぱいに響かせました。

県内外から8団体が出演。フェスティバルに先立って、日本太鼓ジュニアコンクールの岩手県予選も開催され、15団体が出場しました。

当町から出演した馬淵川源流太鼓の会(遠藤勝広会長)は、16人で馬淵川源流の袖山高原に雷鳴がとどろく様子を表現した「雷」を力強く披露、会場内から大きな拍手が沸きました。また日本太鼓ジュニアコンクール予選会に出場した馬淵川源流太鼓の会ジュニアの20人は、源流まつりに華を添えようといくられた「源流まつり太鼓」を元気よく演奏しました。

日本太鼓ジュニアコンクール岩手県予選結果▽①県立大船渡東高等学校太鼓部 ②山口太鼓の会子供組 ③県立宮古水産高等学校宮水太鼓

今までで一番良い演技ができた

足を広げて打つところとか、体で表現するところが大変でしたが、今日は一番良い演技ができたと思います。今日の他の団体の演奏を見て、これからの自分たちの活動に取り入れて、さらに良い演奏をしていきたいと思っています。



馬淵川源流太鼓の会ジュニア 吉澤桃華さん

皆様のご協力に感謝

事務的な準備など慣れない作業も大変でしたが、町の皆さんや各種団体の皆さんから協賛金や会場設営などたくさんのご協力をいただき、感謝でいっぱいです。おかげさまで大成功、本当にありがとうございました。



実行委員長 遠藤勝広さん